

## 自分にとっての『水』

水。それは、貴重な資源であり、限りあるもの。僕たちは、日々水を飲んでいて。その限りある貴重な水を未来に引き継いでいかなうか。僕には、そのためには何をすればいいか。僕は、暮らしの中で何かできないかと考えた。

暮らしの中では、様々な場所で水を使用している。蛇口や洗濯機、お風呂など、自分の家にあるものだけでもたくさん水を使っている。しかし、このままずっと使い続けると、いつかはなくなってしまう。水を少しでも長く使えるように、節水に積極的に取り組むことが大切だと考えた。世界中の人々が、節水を心がけると、貴重な水を大切に、長く使えるようになる。また、水不足なども、少しは改善するのではないかと考えた。自分たちが住みやすくするために、節水は大事だと思

山添村立山添中学校 一年

畑中 敦希

った。僕は、今まで節水を心がけたことはなかった。しかし、この作文で水の大切さや節水をするなどの心がけをすることがどれだけ大事かを改めて知ることができた。

節水といっても、どんな節水をすればいいだろうか。手を洗うときに、泡で洗っているときは、水をとめる。これは少し常識的すぎる気がする。これは意識しなくてもできることだ。では、他に何かあるだろうか。少し考えながら、先ほど言った、洗濯機とお風呂で節水できるかもしれないと考えた。

まず、お風呂から考えよう。お風呂で水を使うのはどこだろう。そう、湯船とシャワーだ。湯船で節水する方法は二つある。一つ目は、湯量を減らすことだ。少しでも湯量を減らせば、節水につながる。また、残り湯を再

利用すること、それも節水になる。

また、シャワーについては、使う湯量を最小限にし、かけ湯をしたり、節水シャワーヘッドを使ってみるという手もある。

続いて洗濯機の節水についてだ。洗濯機の節水方法も二つある。一つ目は、一度にまとめて洗うということだ。まとめてあると、水を使用する回数が一回に減る。まとめて洗うことによつて節水ができるのだ。二つ目は、先ほど言った、お風呂の残り湯を使うことだ。残り湯を使うことで、一回か二回分、使う水の量を減らすことができる。これだけで、たくさんお水を使わずに済ませることができ。このように、身近にあるものから節水を心がけることで、限りある貴重な水を大切に、長く使うことができる。最初も言ったが、水は、限りある貴重な資源の一つだ。水がないと、僕たちは生きていけなくなる。そういう問題解決に近づけていけるのは、僕たちだ。あまり難しく考えず、身近なところから解決していくのが、水不足を防ぐ近道だと、僕は思う。

僕にとつて、水とは、命そのものだと思つ

ている。そんな水を使っている僕たちは、幸せだと思ふ。今もお、水不足で困っている国や地域が数多くある。その人たちにあげられることは何か。それは、節水などに取り組み、その人たちに安全な水を使わせてあげられるようにすることだ。

命そのものである水資源。その命である水を長く、安全に使えるように、自分たちができることを実行し、明日、そして未来へ水を引き継いでいく。これが、僕たちにできる、「水を大切にすること」なのです。